

Trias 企業メモ 2011-2-25

(3377 東証 2 部)株式会社アイケイコーポレーション
2010 年 11 月期 通期決算説明会サマリ

2011 年 1 月 17 日、株式会社アイケイコーポレーション(以下、IKCO)の 2011 年 11 月期(2010 年 9 月-11 月 3 ヶ月変則決算)の決算説明会が開催されましたので、その後のフォローアップを含めた決算サマリをご案内いたします。

【2010 年 11 月期 変則連結決算概要】

決算期変更により、9-11 月の 3 ヶ月変則決算となった当期、前年同期に当たる 2010 年 8 月期 第 1 四半期(1Q)比、減収・減益となった。ただし、対予想比では、売上高、利益ともに予想どおり、推移した。なお、当期純利益には、資産除去債務適用による影響額 △52 百万円を計上した。

【表1】2010年11月期変則決算概要(9/10-11/10)

(百万円)	FY8/10 1Q (9/09-11-09) 四半期 実績	FY11/10 (9/10-11/10)			
		変則通期 予想	変則通期 実績	対予想 増減額	前年 同期比
買取事業					
売上高	5,203	4,754	4,825	71	-7.3%
売上総利益	2,563	2,595	2,551	△ 44	-0.5%
販売管理費	2,846	2,934	2,848	△ 86	0.1%
営業利益	△ 282	△ 339	△ 296	43	-
小売事業					
売上高	640	650	720	70	12.6%
売上総利益	250	234	239	5	-4.6%
販売管理費	246	247	232	△ 15	-5.9%
営業利益	3	△ 12	7	19	81.2%
駐車場事業・パーク王					
売上高	135	135	138	3	2.0%
売上総利益	26	14	7	△ 7	-70.8%
販売管理費	17	19	18	△ 1	7.5%
営業利益	9	△ 4	△ 10	△ 6	-
連結					
売上高	5,733	5,281	5,412	131	-5.6%
売上総利益	2,842	2,844	2,795	△ 49	-1.6%
販売管理費	3,110	3,200	3,094	△ 106	-0.5%
営業利益	△ 268	△ 355	△ 299	56	-
経常利益	△ 270	△ 366	△ 297	69	-
当期純利益	△ 177	△ 304	△ 244	60	-

注1) 予想は2011年1月発表の会社予想

注2) 決算期変更に伴い、2010年11月期は2010年9月～2010年11月の変則決算。

注3) 前年同期比は参考として記載し、2009年12月～2010年11月の数値を使用。

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

<買取事業>

主力の買取事業について、対前年同期では、広告宣伝費が若干増、他の経営指標は販売台数を除き、改善した。対予想では、同じく販売台数が未達となったが、平均単価・粗利額ともに予想を上回った。販売台数未達の要因としては、お申込み件数が想定どおりに伸びなかったことがあげられる。一方、買い取ったバイクの販売先であるオークション相場に上昇の兆しがみられることに加え、整備体制の強化による質の向上等の施策により平均売上単価は予想を若干上回った。平均粗利額についても平均売上単価が上昇したことに加え、粗利額確保の施策効果により予想どおりに推移した。

【表2】買取事業の経営指標(2010年11月期変則決算期間)

	FY8/10 1Q (9/09-11/09) 四半期 実績	FY11/10 (9/10-11/10) 変則通期		対予想 増減	対前年 同期 増減
		予想	実績		
広告宣伝費(百万円)	962	1,036	1,024	△ 12	61
買取成約率(%)	81.3%	85.5%	85.3%	-0.2%	4.0%
販売台数(台)	40,824	37,700	37,048	△ 652	△ 3,776
平均売上単価(円)	126,208	125,000	129,246	4,246	3,038
平均粗利額(円)	62,790	67,800	68,421	621	5,631

注1) 予想は2011年1月発表の会社予想。

注2) 決算期変更に伴い、2010年11月期は2010年9月～2010年11月の変則決算。

注3) 対前年同期は参考として記載し、2009年12月～2010年11月の数値を使用。

<小売事業>

小売事業についても販売台数が未達となったが、大型排気量のオートバイ販売が堅調であったため、平均売上単価・粗利額とも、予想を上回った。また、展示在庫 200 台を確保できる標準店舗パッケージによる新規出店として、「バイク王ダイレクト SHOP4 号草加店(約 185 坪)」を 11 月 19 日に前倒し出店する一方、小規模店舗であった「同大田店(約 39 坪)」を閉鎖し、期末店舗数は 10 店舗となった。

【表3】小売事業の経営指標(2010年11月期変則決算期間)

	FY8/10 1Q (9/09-11/09) 四半期 実績	FY11/10 (9/10-11/10) 変則通期		対予想 増減	対前年 同期 増減
		予想	実績		
販売台数(台)	1,545	1,500	1,409	△ 91	△ 136
平均売上単価(円)	340,538	355,700	425,950	70,250	85,412
平均粗利額(円)	97,343	96,100	106,743	10,643	9,400

注1) 予想は2011年1月発表の会社予想。

注2) 決算期変更に伴い、2010年11月期は2010年9月～2010年11月の変則決算。

注3) 対前年同期は参考として記載し、2009年12月～2010年11月の数値を使用。

<駐車場・パーク王>

駐車場事業については、売上・利益ともに概ね予想どおり推移した。また、当期純利益では資産除去債務適用により △15 百万円の影響を受けた。

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

<その他の財務項目>

貸借対照表の特記事項として、2010年8月末比、法人税納税、商品・貯蔵品の増加、自己株式の取得等により現預金が11億円減少した。自己株取得により、期末株主資本比率は70.1%と、2010年8月末比1.4%減少したが、健全な水準を維持した。

【2011年11月期 業績予想の概要】

次期通期予想は、2010年10月13日付12ヶ月予想(2010年9月～2011年8月)のトレンドが踏襲された。

【表4】2011年11月期連結業績予想(四半期)

(百万円)	FY11/11					
	1Q 予想	2Q 予想	3Q 予想	4Q 予想	通期 予想	前年 同期比
買取事業						
売上高	4,471	6,139	5,802	4,810	21,224	-1.7%
売上総利益	2,479	3,488	3,208	2,663	11,839	0.7%
販売管理費	2,603	3,100	2,879	2,897	11,481	3.4%
営業利益	△ 124	388	328	△ 234	357	-44.7%
小売事業		上期		下期		
売上高		1,523		1,807	3,330	13.5%
売上総利益		529		611	1,141	12.4%
販売管理費		533		519	1,053	8.9%
営業利益		△ 4		92	88	82.0%
駐車場事業・パーク王		上期		下期		
売上高		323		385	709	41.7%
売上総利益		44		64	108	111.2%
販売管理費		42		44	87	18.3%
営業利益		1		20	21	-
連結						
売上高	4,992	6,874	6,466	5,427	23,760	-0.4%
売上総利益	2,714	3,823	3,562	2,981	13,081	2.1%
販売管理費	2,872	3,401	3,154	3,181	12,610	3.9%
営業利益	△ 158	421	407	△ 199	471	-30.4%
経常利益	△ 136	427	415	△ 208	498	-29.4%
当期純利益	△ 99	246	237	△ 136	247	0.7%

注1) 予想は2011年1月発表の会社予想

<買取事業>

後述の新聞報道等を受け、1月の一定期間、広告宣伝活動を一部差し控えることになった。ちなみに、前年10月時点での1Q予想(単位:百万円)は、売上高4,714、売上総利益2,632、販売管理費2,646、営業利益△14であった。同時点での経営指標予想は、広告宣伝費772百万円、買取成約率86.0%、販売台数37,300台、平均売上単価125,300円、平均粗利額69,500円であったため、足元の動向を反映させ1Q予想を補正した。ただし、2Q、3Qの予想については、業績、経営指標ともに修正はない。

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

【表5】買取事業の経営指標予想(2011年11月期四半期)

	12ヶ月 (12/09- 11/10)	FY11/11					対前年 同期 増減
		1Q 予想	2Q 予想	3Q 予想	4Q 予想	通期 予想	
広告宣伝費(百万円)	3,730	776	1,097	960	1,029	3,864	134
買取成約率(%)	84.9	86.5%	86.5%	86.0%	85.5%	86.1%	1.2%
販売台数(台)	166,354	34,200	49,200	45,900	38,000	167,400	1,046
平均売上単価(円)	128,572	129,600	123,800	125,400	125,400	125,800	△ 2,772
平均粗利額(円)	70,128	71,300	69,800	68,900	68,900	69,700	△ 428

注1) 予想は2011年1月発表の会社予想。

買取事業における、今期の最大のポイントは機会損失の削減にある。そのため、従来路線の施策に加え、以下が新たに実践されている：

① 広告効果の課題を抽出するとともに改善策を検証

バイク王ホームページ(HP)における離脱率が高社よりも高い状態にあることが検証されたため、離脱率低減のためにHPを更新する(3月末日処)。また、広告効果が減衰している媒体について、お申込み件数減少を食い止める追加施策を打つとともに、広告の費用対効果が高い媒体への出稿量を増やすなど、広告投資にめりはりをつける。

② 買取成約率向上のための施策強化

アポイント率や成約率に関する成績優秀者上位のナレッジを会社全体で共有する仕組み作りを通し、全社的な成約率向上を図る。

③ 平均売上単価・粗利額の改善施策強化

オークション出荷前の整備強化による単価・粗利額を向上させるとともに、高額車両の成約率をさらに改善させる。

<小売事業>

今期については、現状の標準パッケージ(展示在庫 150~200 台)に基づく新規出店 2 店舗(内、1 月に相模大野店を出店済み)、閉鎖 3 店舗を計画している。期末での店舗数計画は 9 店舗と、前期末比 1 店舗減少するが、店舗の大型化により、総店舗面積・展示在庫数は増加する見込み。出店に際しては、商圈における保有台数や競合状態等を細かくチェックしている。今期についても、標準パッケージ店舗の運営を通じ、将来の多店舗展開に向けての検証を進めていく。

【表6】小売事業の経営指標(2010年11月通期予想)

	12ヶ月 (12/09- 11/10)	FY11/11			対前年 同期 増減
		上期 予想	下期 予想	通期 予想	
販売台数(台)	6,487	n.a.	n.a.	7,687	1,200
平均売上単価(円)	381,241	n.a.	n.a.	374,300	△ 6,941
平均粗利額(円)	103,198	n.a.	n.a.	100,100	△ 3,098

注1) 予想は2011年1月発表の会社予想。

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

＜駐車場・パーク王＞

駐車場事業については従来、採算重視の慎重な事業展開を行ってきたが、今期は黒字体質を維持しつつ、開発チャンネルを拡大、新規事業地開発を加速させる。

【新聞報道等について】

先ず、新聞報道等の件について、株主の皆様をはじめ、多くのステークホルダーの皆様にご迷惑をおかけし、お詫び申し上げます。

2006年3月よりIKCOでは、2つのサイト上に同社の複数ブランドの紹介を行っていたが、機能上、比較サイトではないと判断していた当該サイトは、利用者に比較サイトの誤解を与える表現が使われているとして、2010年11月に閉鎖した。このサイトに関し、2011年1月3日付で一部新聞が、IKCOがインターネット比較サイトで競合業者とバイクの買取価格を競っているように装っていたとの報道を行った。これを受けて1月13日に取締役会が開催され、内部調査委員会による調査結果に基づく事実経過が確認されるとともに、広告物等に関するチェック体制と社内のコンプライアンス意識の徹底が不十分であったとの判断がなされた。その後の対応として、コンプライアンスに関するチェック機能強化のための法務コンプライアンス室の新設、コンプライアンス推進担当者の設置など適宜施策を実行する意向が示された。また、広告宣伝活動において、ユーザー目線に立脚した広告宣伝活動を最優先に実施したい。なお、本件と直接的な関連性は低いがコーポレートガバナンス体制の一層の強化のため、社外取締役の選任を行う予定である。

【質疑応答】

Q1. 2011年11月期予想につき、売上が微減するのに対し、販売管理費が増加するのは何故か？

A1. 販売管理費の伸びは、広告費と人件費の増加によるもの。広告費には、広告効果の検証や機会損失低減策といった、今後のコストパフォーマンス改善につながる投資的な項目が含まれており、成果をもって、コスト削減に努めたい。人件費増については、主に新規出店を行っている小売事業における増員による。また、若干のベースアップも見込んでいる。

Q2. 今期も、11月中旬に広告のクリエイティブ変更を行ったとのことだが、その意義は？

A2. 現行のクリエイティブへの飽きが出てきていたため、変更を行った。今回の制作の際、考慮したポイントは以下の3点。

- ① “ちゃんとしている”をキーワードに、バイク王ブランドの強化を図る。
- ② 気づきのクリエイティブ： 従来、“放置オートバイ”の映像化というラインで制作を行ってきた。反響がよかったため、これを使いまわし、飽きにつながった。今後放送の広告については、“3つの気づき”という発想に基づくクリエイティブに変更。
- ③ イメージキャラクター テリー伊藤さんの起用： テリー伊藤さんは、中型免許保持者だったが、3年前に大型免許を取得。この大型免許取得をきっかけに、メディアでの露出も多くなっていた。今後は、様々な企画を踏まえた展開を考えている。

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

Q3. 機会損失の低減策として、ホームページ(HP)の更新を行っているとのことだが、抜本的なリニューアルなのか？

A3. 前 2010 年 8 月期後半から、情報本数の未達状況が続いていた。原因を検証した結果、当社の HP 離脱率が市場平均と比較し非常に高いことがわかった。このため、HP のリニューアルを行い、3 月末を目処に、離脱率低減策を盛り込んだ新しい HP をリリースする予定。これまで改善に取り組んできた SEO 対策については、ポータルサイト構築等を通じ、更なる改善に取り組んでいる。

Q4. 小売事業で標準店舗パッケージを検証しているとのことだが、検証後の展開は？

A4. 小売事業の店舗パッケージについては、過去の M&A を通して継続的に検証を続けてきた。その結果、展示在庫 150~200 台という現行のパッケージに至った。前述の通り、出店は出店チェック項目を満たした店舗に限定しており、結果、今期予想を含めた累計で3店舗を出店する一方、小規模4店舗を閉鎖する。出店を上回る閉鎖ではあるが、全体として、面積、在庫台数は拡大している。標準パッケージは、期初に出店すれば、初年度で黒字を確保できる想定となっているが、この想定どおりに進むようであれば、来期(2012年11月期)以降、5~10店舗/年の出店を考えたい。ただし、まだ検証中であるため、来期以降の計画を確定しているわけではない。中長期的には、当初の想定どおり、多店舗展開を考えている。📌

【ご参考】(3377)株式会社アイケイコーポレーション

連結主要指標と業績の推移

連結主要データ		
発行済株式数(株)	2010.11月	152,856
うち自己株式数(株)	2010.11月	10,743
時価総額(百万円)	2011.2.24	3,262
一株当純資産(円)	2010.11月	29,288
ROE(%)	2010.11月	-5.9
ROA(%)	2010.11月	-4.1
PER(倍)	2011.11月予	11.94
PCFR(倍)	2010.11月	-18
PBR(倍)	2010.11月	1
株価(円)	2011.2.24	21,340
単元株数(株)	2011.2.24	1
日々平均出来高(株)	2011.2.24	175

連結主要データ		
総資産(百万円)	2010.11月	5,932
自己資本(百万円)	2010.11月	4,162
有利子負債(百万円)	2010.11月	238
自己資本比率(%)	2010.11月	70
有利子負債比率(%)	2010.11月	6
フリーキャッシュフロー(百万円)	2010.11月	△ 602

注: ROE=当期純利益÷期末自己資本

ROA=当期純利益÷期末総資産

PCFR=時価総額/(当期純利益+減価償却費)

日々平均出来高=過去1年間の平均

有利子負債比率=有利子負債÷自己資本

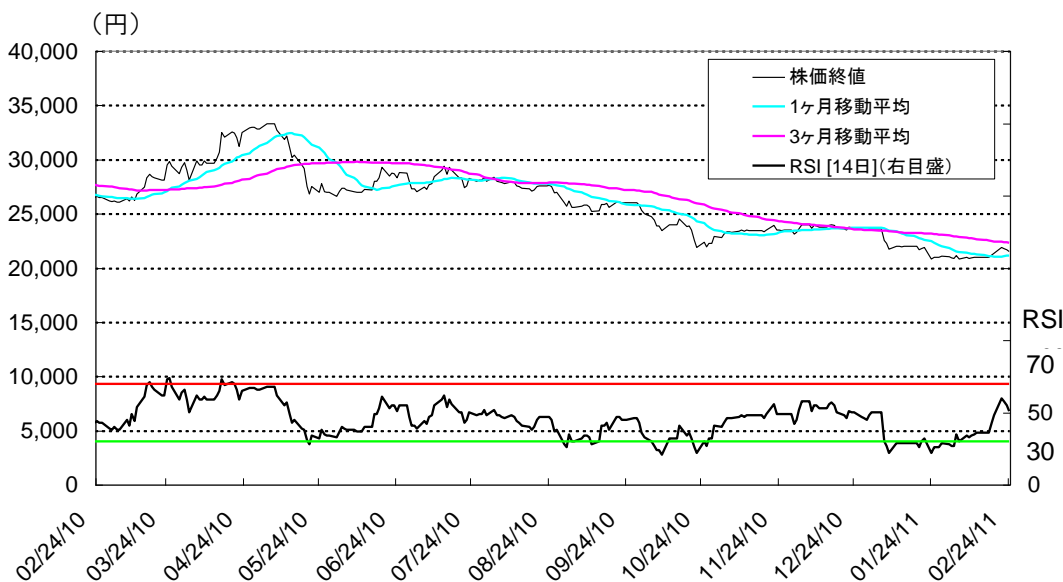
フリーキャッシュフロー(FCF)=営業CF+投資CF

連結(百万円)	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	一株配(円)
2008年8月期	24,588	1,864	1,904	847	5,555.13	800.00
2009年8月期	23,502	646	671	251	1,643.75	1,200.00
2010年8月期	24,176	708	732	312	2,123.24	1,200.00
2010年11月期	5,412	△ 299	△ 297	△ 244	△ 1,686.89	300.00
予2011年11月期中間	11,867	263	291	146	1,055.59	600.00
予2011年11月期通期	23,760	471	498	247	1,788.01	1,200.00

注1) 予想は2011年1月13日発表の会社予想

注2) 決算期変更に伴い、2010年11月期は2010年9月～2010年11月の変則決算

株価チャートとRSI



出所: BloombergのデータをもとにTrias作成

注: RSI(Relative Strength Index)とは株価の「買われ過ぎ」や「売られ過ぎ」を指数で表したもの

一般的にRSIが70を超えると高値圏、30以下では安値圏に位置していると言われてい

RSI= N日間の値上がり幅平均÷(N日間の値上がり幅平均+N日間の値下がり幅平均)×100

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。